

委員会のうごしき

総務

教育

常任委員会

大方高校17名入寮見込みでスタート



委員長 おくもと 澄本 哲也

の設置及び管理に関する
条例の制定

県教育委員会も
対応

Q 日常の日直、夜間の
管理者はどうするのか。

A 日直については、会
計年度任用職員の雇用を
考えている。夜間につい
ては17名の見込み。

当委員会に付託された
条例改正9件、補正予算
3件、当初予算5件の17
議案は、審査の結果、賛
成多数1件、他の議案は
全会一致で可決すべきも
のとなつた。

条例の制定

Q 食事を提供とあるが、
個人負担額は幾らか。

A 高校生は月額2万円、
使用料と合わせて3万5
千円を徴収する。



充実している
各部屋の設備

では県教育委員会が対応
してくれる。高校生の寮
が主であるため、運用し
やすいよう高校側と協議
しながら進めていく。

大方高校17名入寮 見込みでスタート

●教育振興交流支援施設

【写真はいずれも令和7年3月11日撮影】

A 小学校、中学校合わ
せ701台購入する。

Q 何台購入か。納期は。

A GIGAスクール用
タブレット購入
4780万台

タブレット
701台購入

A 地域おこし協力隊に
町内の事業所、こぶしの
さと4名、伊田大敷網組
合1名、ビオス大方1名、
佐賀北部若山楮に1名を
配置。事業の継承、担い
手を課題に取組んでもら
い将来はその事業所で働
いてもらう事を目的とし
ている。

Q 町内事業所と契約を
結ぶとのことだが詳細は。

■地域おこし協力隊企業
委託 3647万円

●令和7年度
一般会計予算
事業の継承
担い手対策で